

あぶたん つうしん 143号

出前講座を開催



10月28日(水)に逢隈地区区長15名が「逢隈地区区長会視察研修」として、阿武隈大堰の出前講座に参加されました。

岩沼出張所の業務内容、阿武隈大堰の概要・管理体制や、現在行われている工事概要、地域を守る堤防や除草など身近な話題にも触れ説明しました。

講座を通し地元住民の方々からの要望や質疑で、阿武隈川の自然環境や河川管理施設等についての関心の高さを実感しました。

■仙台海川国道事務所では、道路や河川の社会資本整備を通じて地域づくりを進めています。

地域の皆さんに国土交通省の情報を提供し、また地域の皆さんのご意見をいただいで、できるだけ事業に反映させたいと考え「出前講座」を開催しています。

そ じょう サケが遡上してきたよ！

本格的な秋がきてサケが阿武隈川を遡上してきました。阿武隈大堰ではサケがのぼる環境改善のためにゲート操作をしています。上流にのぼって行けるように、「1、2号と10号のゲート」を定期的に開閉して魚道に促しています。そうすることにより、たくさんのサケが上流めがけて泳いでいきます。

みなさんの身近な橋の上から、サケが遡上している姿を見ることができるかもしれませんね。

遡上とは・・・流れをさかのぼっていくこと

魚道付近にいたサケ(H27.10.14撮影)



10号ゲート



1、2号ゲート

【魚道】(魚が登りやすいように人工的に設けられた副水路)

《パーチカルスロット式魚道》

隔壁に連続して空けて切り欠き(縦溝)から水を流し、魚を遡上させる形式。上流の水位が変化しても魚道内は常に同じ流れしか生じないので安定します。



◆許可を得ずにサケを捕獲すると水産資源保護法により、1年以下の懲役または50万円以下の罰金が課せられます！



【カワウ】



【カモ】

